

公表日

2026年 1月 20日

事業所名

こばんはうすさくら立川幸町教室

保護者等数(児童数) 36名 回収数 35件(割合97.2%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	26	8	0	1	広い部屋が2つあり、十分確保されていると感じる。	規定通りのスペースを確保させていただいております。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	25	7	1	2	職員の配置数がもっと多ければいいのに。 何名の子に対して何名が勤務されているのか分からず。	お子さま9~10名に対して、職員4~5名配置しております。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているだと思いますか。	27	4	1	3	見学時に見ましたが、そのように感じました。	トイレ内に手すりをつけております。 また、活動空間には段差などの障害物がないような作りとなっております。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	26	7	0	2	見学に行った際に、少し汚れが目立つと、汗の匂いが目立ちました。 床や壁に消すことのできない落書きがあるいたしかたない部分もあるが、放置しているとそこに落書きしてもよいという誤った認識になる子供もいるのではないか?	お子さまの受け入れ前に政争の時間を設け、清潔な環境を保てるよう心がけております。 壁の汚れに関しては、すべての箇所ではありませんが、同じ色のペンキを用意し、塗装を行いました。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援を受けられていると思いますか。	31	4	0	0	先生によって差があるように思います。 どのようなレベルを持って専門性と呼ぶべきかわかりませんが、集団プログラムには特化していると思います。	OJTの研修期間を設けて、職員の支援技術の向上を図っております。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	32	2	0	1		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画(個別支援計画)が作成されていると思いますか。	31	2	1	1		
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	23	7	0	5		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	31	2	0	2		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	32	3	0	0	普段、なかなか連れて行けない場所や施設などの経験はすごく為になるので有難いです。 子供たちも楽しみにしているので楽しく過ごせる工夫ができていると思います。 他事業所との一番の違いだと感じています。 いろいろな所へお出かけしてもらえると有り難いです。	ありがとうございます。 普段経験できない、することが難しいような体験活動や課外活動を提供できるよう、職員一同工夫しております。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他の子どもと活動する機会がありますか。	10	3	10	12	少なくとも保育園幼稚園と交流する話はあまり聞かない。	保育園等との交流は難しくてあります。 が、体験活動等で外出した際に、交流を持つこともあります。
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	32	2	1	0	利用者負担額や細かな金額の設定など、一覧表には書いてあるが私たちから見たより内容が理解できないので細かな金額の説明はあったら安心する。	ご契約時にご説明できるよう心がけておりますが、お時間の関係からすべてお伝えすることが難しい状況です。 お聞きいただければお答えしますので、ご質問頂けますと幸いです。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	28	3	3	1	入所時や途中経過での支援計画の説明は、送迎時やイベント時に教えてくれるので分かりやすい。	ありがとうございます。 ご要望があるご利用者様につきましては、個別で面談を設けさせていただきますので、お申し付けください。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	19	1	5	10	作業療法士さんのプログラムやzoomでのやり取りなど、療育で父母同士が交流する機会はなかなかないのでやっています。 なかなか普段参加できずにいるが、予定があれば参加したい。 保護者会や交流会、保護者が参加したり見学出来る機会を増やしていただきたいです。	今年11月に、保護者交流会として、保護者様参加型のBBQイベントを開催しました。 今後も定期的に開催できるよう企画しております。 ご見学に関しては、ご希望がありましたら、いつでもお受けしております。まずはお気軽にご連絡くださいませ。

保護者への説明等	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるていると思いますか。	31	2	2	0	やはり子供と離れている分、アプリや送迎時にその日の発達状況や健康状態を細かく説明していただけてすごく安心。普段から丁寧に対応してくださる配慮がある。 ここは包み隠さず話してくれます。	ご意見ありがとうございます。 アプリや送迎時の詳細の共有や、何かあった際には、すぐにご連絡差し上げるよう、職員間に周知しております。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	10	1	4	なかなか普段ゆっくり話す機会があまりないので、半年に一回ぐらいは父母面談があったらその時の状況や子供の話を出来る機会が増えるので良いとは思うがスタッフさんの負担が増えてしまうのが心配。 面談はありませんが、連絡帳アプリのメッセージや送迎時の申し送りで助言は受けています。 家庭環境によるのではないかうちでは特に助言はなかった。	今年11月に保護者様、ご家族様参加型のBBQイベントを開催しました。今後もこういった機会を設けていければと考えております。  別途面談のご依頼等ありましたら、都度面談のお時間を設けますので、お気軽にご相談ください。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	33	1	1	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。 また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	17	9	2	7	父母同士は普段忙しい分難しい部分もあるが、あたら共通で理解し合える環境ができるかもしれないでそれはそれで嬉しい。 きょうだい向けイベントは開催されてないですが、必要性を感じません。 きょうだいの参加できるイベントが増えたといいと思う。 11月に保護者参加のバーベキュー会がありました。他の利用者さんや職員さんとお話をする機会があってよかったです。	今年11月に保護者様、ご家族様参加型のBBQイベントを開催しました。今後もこういった機会を設けていければと考えております。
保護者への説明等	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	26	6	0	3	相談や申入れした際は早急に対応出来る上司や担当への確認をした上で迅速に対応して頂けると、不安も解消される。	ご意見ありがとうございます。 こういったご連絡があった際には、早急に報告をあげるよう、職員に改めて周知してまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	32	2	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	30	2	1	2	普段アプリで日頃の療育状況や健康状態が写真やSNSで発信される為、目に見えて理解出来るし安心。	アプリを通して、定期的に保護者様に発信しております。
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	32	2	1	0		
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	26	4	1	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30	3	1	1		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	30	3	1	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	30	3	2	0	事故などがあった場合には後回しにせず早急に報告、連絡、相談が必要。 解決できない場合は対応出来る担当者にすぐ話をして相互確認。 可能な限り速やかだと思います。	ご意見ありがとうございます。 こういったご連絡があった際には、早急に報告をあげるよう、職員に改めて周知してまいります。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	32	3	0	0	日頃から姉妹で通っていて娘たち二人とも楽しく過ごせているので親としても嬉しい。	そのようなお声を聞くことができ、大変うれしく思います。 今後もそう思っていただけるよう、職員一同努めてまいります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	30	4	0	1	送迎時はいつもにこにこして行くので、それだけ安心出来る環境なんだと思います。 いまは気持ち的にお休み中ですが、楽しく通っていました！	「安心できる環境」とおっしゃっていただき、大変うれしく思います。

満足度	29	事業所の支援に満足していますか。				いつも暑いなか、寒いなか、子供達のことを1番に考え支援してくださり本当にありがとうございます。感謝しています。これからもよろしくお願ひします。	保護者様によりお気軽にご見学に来ていただけるよう、今後も保護者様参加型のイベントを企画してまいりますので、その時はぜひともご参加ください。
						我が子が他の子や先生に対して不安を感じ、利用回数が減ってしまいましたが、先生方は丁寧に相談にのってくれていると思います。ただやはり現場での様子は完全には把握できないため、通所人�数も多いようですし人員が足りているのか、環境が整っているのかなど、見学やイベントなども少なく、設問に答えるのが難しく感じます。	我々もお子さまが安心して通えるよう、現場作りやご利用者様へのケアに努めてまいります。

公表日

2025年 1月 20日

事業所名

こばんはうすさくら立川幸町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	14	2	大きな物を置かない工夫をしている。 利用人数、状況によって各部屋、パーテーションを活用している。	部屋がいくつもあるため、目の届かない箇所をなくすための職員の配置やルールを策定していく。
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	15	1	事前に子どもの特徴を共有し、必要に応じて人員を配置している。	職員数が多すぎることで役割が明確にできずむしろヒヤリが発生しやすい。 来年度小学生になり、卒業する児童が多いため、児童数の確保や職員の割り振りを考えていく必要がある。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	12	4	色分けによる認知理解や、パーテーションで視界を区切り分かりやすくできている。 ロッカーにイラストが貼ってあり、何をどこに置くかが見て分かるようになっている。	教室内で子供達のドアの出入りが多い。子供にも鍵を開けられてしまい構造的に危なく感じる場面がある。 室内の掲示などが整備しきれていない、視覚的にわかりやすくしたり、気が散らないような配慮が必要。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	7	児童受け入れ前、もしくは業務護の清掃を徹底している。	活動中に出したものがそのままになっていることが多い。 床が気になる。(隙間にゴミがたまっている等) 布団などの洗濯などが不衛生に思う時がある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	15	1	個別課題の部屋が定着していて、必要な時以外使用しないでのわかりやすい。 個室の他に、パーテーションで個別空間を作ることもできる。 風邪による隔離や昂ってしまった際のクールダウンに使用できるようにしている。	勝手に使おうとする児童もいるため、相談の必要性はある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	10	6	療育後の振り返りの時間など、話し合う時間を設けている。 また、話し合った内容をLINEを活用して共有、確認できる。	送迎や午後の活動との兼ね合いにより、同じ職員ばかりの参加になってしまうことが多い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	5		去年は会議の時間を使って共有できていたが、今年は行えてないため、LINEを活用して職員間に共有を行う。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	5	意見書を用意し、質問しやすい環境作りをしている。 業務後の振り返りで意見交換することができる。	個別面談など、設けてはいるがこまめにはできていない。 特定の職員間の共通認識になっていると感じることがあり、それに対して意見は言いづらい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	11	保護者様やモニタリングで訪問した相談員さんによる評価を聞き、改善に勤めている。	一部の職員しか伺う機会がないため、職員全体への周知、共有を行っていくよう努める。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内などで研修を開催する機会が確保されているか。	16	0	外部の研修を受講する機会を設けている。 自分自身で見つけた講座をうけさせてくれる。	今後も継続していく。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	3	時期や児童に合わせたプログラムを作成し、HUGシステムを用いて、保護者様向けて公表している。	今後も継続していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	14	2	時期に合わせてアセスメントを取り、職員間で共有、理解に努めている。	今後も継続していく。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	15	1	定期会議の活用して行っている。	ここ最近は会議を設けられていないため、機会を徐々に増やしていく。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	11	5	作成した支援計画を職員に公表し、共通理解に努めている。 共有と、いつでも確認できるよう保管されている。	今後も継続していく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	7	振り返りなどで挙げられた行動を個別に記録することで対応している。	できていない感じている職員もいるため、他の方法も試していく。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	14	2	時期に合わせてアセスメントを取り、保護者様からの要望も取り入れて作成に努めている。	今後も継続しつつ、本人支援になりがちなため、ご家族様の要望をより聞き取り、様々な支援に努めていく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	16	0	2名以上でプログラムの立案に努めている。 職員会議で話せる機会が多くあった。	今後も継続していく。

児童発達支援計画の実施	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	16	0	毎回同じものにならないよう、参加者に合わせて考えている。	今後も継続していく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	15	1	日々の児童の様子を共有し、状況に則した支援提供を行っている。	今後も継続していきつつ、個別課題の踏み切るタイミングや内容が甘いと感じる事があるため、職員間での話し合いに努めている。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	15	1	送迎開始前にミーティングを実施し、一日の流れや役割分担について確認している。	出勤時間を遅らせてからはミーティングに参加できず、ないと感じることがある。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	14	2	支援終了後に振り返りを行い、その日の様子などを再確認する時間を設けている。	送迎業務に出てしまい、全員で打ち合わせをすることがなかなか難しい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	16	0	職員間で共有をし合いながら支援の検証、改善に努めている。	今後も継続していく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	13	3	定期的に行い、モニタリング後に支援に対する意見の交換をしている。	今後も継続していく。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	15	1	児童発達支援管理責任者が必ず参加している。	今後も継続していく。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	4	他事業所での支援の仕方を当事業所でも行っている。 一部の保育園とは支援の内容を共有し、情報交換をしている。	今後も継続していく。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行なうなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	3	幼稚園、保育園との情報共有を行っている。	できていない園もあるため、より密な関係性作りに努めていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	3	就学支援シートに教室での様子を記載し、情報共有に努めている。	できていない学校もあるため、より密な関係性作りに努めたい。
	28	(28~30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	10	地域の児童発達支援センターと関係作りに努めている。 ぜひ経験してみたい。	話し合いの機会を設けていきたいと思う。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	4	12	地域のイベントや公園を利用した際に、地域の子たちと交流する機会がある。	今後も継続していく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	14	2	HUGシステムや送迎時、電話面談を通じて情報共有を行っている。	今年11月に保護者参加型のBBQイベントを行った。今後も定期的に開催し、こういった機会に繋げていきたい。 もう少し、保護者の方への聞き取りや話す機会、時間がほしい。
保護者への説明等	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレン特レーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	9	7	今年11月に保護者参加型のBBQイベントを行った。	家族支援プログラムや研修は行えていないため、今後できるよう検討していきたいと思う。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	14	2	契約時に説明をしている。	今後も継続していく。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	15	1	お子さんの利益や保護者様のニーズを踏まえ、作成に努めている。	ご要望があれば、電話などで個別に面談の機会を設けさせていただきます。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	15	1	説明時に確認してもらひながら内容を伝えている。	ご要望があれば、電話などで個別に面談の機会を設けさせていただきます。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	3	HUGシステムや送迎時、電話面談を通じて行っている。	もう少し保護者の方への聞き取りが必要だと思う。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	15	1	今年11月に保護者参加型のBBQイベントを行った。	父母の会など、ご要望があれば検討させていただきたいと思います。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	16	0	HUGシステムや送迎時、電話面談にて対応している。	今後も継続していく。

非常時等の対応	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	16	0	年に4回作成し、HUGシステムを用いて保護者様向けに公表している。 今後も継続していく。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	15	1	シユレッダーで処分するなど、留意できている。 以前裏紙で送迎表を使ってしまうことがあった。職員に迅速に共有、注意喚起を行った。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	16	0	マカトンサインや絵カードを用いるなど、様々な工夫を凝らしている。 今後も継続していく。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	11	感染症が流行ってから行えていない。 今後状況次第で考えていきたいと思う。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	16	0	避難訓練を定期的に実施している。 今後も継続していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	16	0	避難訓練を定期的に実施している。 今後も継続していく。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	15	1	朝のミーティングで都度確認している。 今後も継続していく。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	16	0	ファイルを作成し職員間で都度確認している。 対応の仕方について共有をもらい、そのように対応している。 今後も継続していく。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	14	2	職員間で訓練している。 研修が増えたように思う。 同じ事故を起こさぬよう、安全管理をより徹底していく。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	3	送迎時やHUGの機能を用いて周知している。 今後も継続していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	15	1	日々の振り返りや定例会議を用いて行っている。 定例会議がここ最近設けられていないため、徐々に機会を増やしていきたい。
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	16	0	定期的に研修機会を確保している。 今後も継続していく。
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	13	3	必要がある保護者様に説明をし、同意をもらっている。 今後も継続していく。